

## 三菱愛川リサイクルセンター第1工場

|         |  |
|---------|--|
| 施設の種類   | 沈降分離・脱水施設  |
| 品目      | 汚泥   |
| 設置年月日   | 沈降分離施設 昭和51年9月3日<br>脱水施設 平成元年9月20日   |
| 設置場所    | 神奈川県愛甲郡愛川町中津字大塚下6766番1(871m <sup>2</sup> )   |
| 処理能力    | 沈降分離施設 9m <sup>3</sup> /日(8時間)<br>脱水施設 6.4m <sup>3</sup> /日(8時間)   |
| 処理方式    | 沈降分離方式<br>ベルトプレス方式   |
| 構造設備の概要 | 脱水機 型式 RF-800型脱水機<br>製造元 柳河エンジニアリング株式会社<br>汚泥貯留槽(有孔バケット)<br>脱離液貯留槽<br>受け入れた汚泥は、汚泥貯留槽に設置された有孔バケットに受け、固形物と水分に分離し、水分はそのまま下のピット槽に落ちる。有孔バケットを汚泥貯留槽から引き上げ、第一段床、第二段床を經由してさらに固形分と水分を分離する。<br>絞水に含まれる高速洗浄に由来するスラリー状の汚泥は、ベルトプレスにより固形物と水分に分離する。 |
| 保管施設    | 受入汚泥貯留槽 最大保管量 17m <sup>3</sup><br>脱水汚泥貯留槽 最大保管量 1m <sup>3</sup><br>脱水汚泥保管ピット 保管面積 25m <sup>2</sup> 最大保管量 26.25m <sup>3</sup>   |
| 環境保全対策  | 沈降分離・脱水施設は屋内に設置され、アニコ脱臭装置を設置し、悪臭の発生を防止する。<br>分離された水分は、再生水として滅菌中和したのち再生水貯留タンクに保管し、場内の洗浄等に再利用し、下水として放流しない。   |

|         |   |
|---------|---|
| 施設の種類   | 溶融施設  |
| 品目      | 廃プラスチック類  |
| 設置年月日   | 平成25年6月3日   |
| 設置場所    | 神奈川県愛甲郡愛川町中津字大塚下6766番1(871m <sup>2</sup> )  |
| 処理能力    | 1.0t/日(8時間)   |
| 処理方式    | 溶融処理方式  |
| 構造設備の概要 | 発泡スチロール溶融減容機 EDP-1500S-RS<br>製造元 シグマ機器株式会社<br>受け入れた廃プラスチック類(発泡スチロール)は、電気式の発泡スチロール溶融減容機に投入し、電熱ヒーターにより180°Cの熱で溶融し、金属製の容器に流し込んで成型する。 |
| 保管施設    | 廃プラスチック類置き場(屋内) 29m <sup>2</sup> ×2 最大保管量 214m <sup>3</sup><br>プラスチック成型品置き場(屋外) 6m <sup>2</sup> 最大保管量 4.5t 高さ 2m                  |
| 環境保全対策  | 溶融物が排出される出口に発生する臭気を出カフードにて回収し、換気扇による吸引で脱臭用活性炭を通過させて処理を行い排出する。   |